

平成28年度 あわら市の 予算

問合せ
財政課
☎73,8008

「まち・ひと・しごと」に重点

平成28年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ148億2000万円、前年度と比較して14億8000万円（11.1%）の増となりました。
これは、前年度が骨格予算であったことのほか、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金、庁舎耐震補強・改修工事、小中学校コンピュータ整備、農業者トレーニングセンター改修工事などの大型事業が予定されているため、当初予算の規模としては合併後最大となりました。

市の貯金

― 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、合併当初の平成15年度末には5億4507万円でしたが、平成26年度から合併による優遇措置が縮小され地方交付税が減額されることを踏まえて、これまで積極的な積み立てを行ってきました。平成27年度末には31億4400万円となる見込みです。

市の借金

― 市債残高

市の借金である市債は、平成27年度末で約178億4000万円（前年度比約9000万円の増）となる見込みです。これは、芦原温泉駅周辺整備事業などの借入れによるものです。市債は償還額の一部または全部が交付税に算入される借入れ（合併特例債など）を活用して

各会計の当初予算額（合計 224 億 3235 万円）

一般会計 148 億 2000 万円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 37 億 1110 万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	34 億 870 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 9740 万円
農業者労働災害共済特別会計	500 万円
産業団地整備事業特別会計	廃止

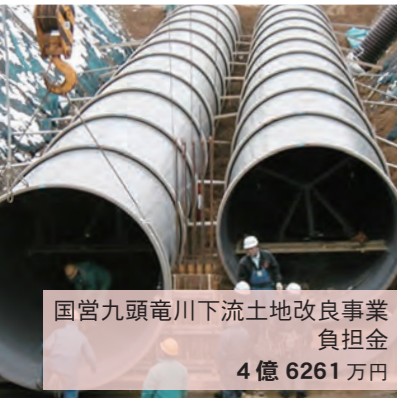
企業会計 36 億 7762 万円

一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	10 億 4722 万円
工業用水道事業会計	1275 万円
公共下水道事業会計	25 億 1240 万円
農業集落排水事業会計	1 億 525 万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2 億 2363 万円

旧芦原町内の特定区域（財産区）の水道事業にかかる会計



国営九頭竜川下流土地改良事業
負担金
4 億 6261 万円



庁舎耐震補強・改修工事
3 億 3120 万円



小中学校コンピュータ整備事業
1 億 3800 万円



農業者トレーニングセンター
改修事業
2 億 7953 万円



公共施設等総合管理計画策定
業務
2000 万円

主な事業の予算額

家計簿でチェック

今年度の一般会計当初予算を年収約494万円（3000分の1）の家庭に置き換えて家計簿にしました。

1 年間の収入合計 約 494 万円		1 年間の支出合計 約 494 万円	
基本給与（市税）	149 万 9623 円	食費（人件費）	70 万 6838 円
諸手当（分担金及び負担金）	10 万 2133 円	医療費（扶助費）	88 万 3112 円
副業収入（使用料及び手数料）	5 万 5411 円	光熱水費、消耗品費など（物件費）	69 万 8483 円
預金の取り崩し（繰入金）	24 万 1084 円	子どもへの仕送りなど（補助費等）	94 万 2199 円
臨時収入など（寄付金、財産収入など）	16 万 7374 円	家や車などの修繕費（維持補修費）	1 万 8207 円
親からの援助（交付税、国県補助金など）	229 万 3408 円	家などの増改築（普通建設事業費）	79 万 9150 円
銀行からの借入れ（市債）	58 万 967 円	借金返済（公債費）	46 万 9089 円
貯金残高（財政調整基金）	105 万円	貯金（積立金）	1 万 1021 円
借金残高（市債残高）	595 万円	その他（予備費、災害復旧費、繰入金など）	41 万 1901 円

収入をみると、親からの援助に頼っている割合が大きく、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、支出を抑えていくことが必要です。

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が約4割を占めています。これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。

一般会計当初予算規模 148 億 2000 万円

